

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

3年ぶりに対面での講演会です。 「技術士を知ろう！ in 北海道科学大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2023年度の活動第2弾は、2016年度から講演を行っている北海道科学大学(北科大)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

科学大ではコロナ禍においても、万全の対策で講演会を継続してきていたのですが、久しぶりに直で学生達と対面しての出前講座を開催できました。

2. 実施概要

開催日時：2023.6.15(木) 13:00～14:30

講義内容：技術士について

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：都市環境学科 1年生 計45名

参加幹事：小澤、木本、森若、千葉(記)(ミライ研4名)。密山(青技交1名)。

北科大での講演は、都市環境学科の細川先生・松田先生の力強いバックアップがあって、これまで実施できています。ご協力に感謝致します。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

小澤代表は、講演中に目が合った学生達を一人も逃さず、常に相手の目を見て訴える技を駆使しているそうです。さすがのプレゼンテクニックでした。



写真-1 講演前に作戦を練る小澤代表(右端)

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 技術士補の仕事(森若技術士補)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは北科大(旧道工大卒)OGで、北電総合設計(株)に勤務する森若技術士補から講演を行いました。発電に使用された水を排水する際に、海に生息する生き物に影響を与えないため、水温差や温排水拡散範囲等の基準がある事。調査日の設定では、潮位差が大きい大潮且つ下げ潮時に、発電出力および放水量が最大となる時間帯を選ぶことなど、自身が経験した課題解決方法を紹介してくれました。

講演前に恩師の川端先生が駆けつけてくれて、森若技術士補と談笑している姿がありました。森若さんもリラックスして講演会に臨めたと思います。



写真-2 注目を浴びる森若技術士補(ミライ研 幹事)

(2) 技術士の仕事(密山技術士)

続いて北科大(旧道工大卒)OBで、ダイシン設計(株)に勤務する密山技術士から、コンサル(橋のメンテナンス)の仕事の講演を行いました。橋の補修設計に関し、マニュアルに無い、自身が経験した課題解決方法を紹介、専門用語も事例写真や図・表を基にした丁寧な説明を行いました。また最後にはOBならではのメッセージを語り掛けてくれたのですが、いつも冷静沈着な密山さんらしからぬ(!?)気持ちの入った語りが印象的でした。



写真-3 後輩達へ熱く語る密山技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

入学間もない学生達向けに、北海道内の施設事例等を用いて様々な仕事があることを知ってもらおうと用意してくれました。

まだ漠然としてしか自分たちの「ミライ」を意識できていない学生にとって、今後の就職等を真剣に考える機会にしていただけようです。



写真-4 都市環境のミライを語る木本技術士

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では、「土木と環境は関係が深くどちらも大切だと分かりました」、「対策によって橋の寿命の長さが大きく変わってくることを知って専門の技術者の重要性を理解できた」、「技術士には、専門的知識、問題解決能力、コミュニケーション能力が大切になるとわかった」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。



写真-5 学生達からの質問に答える森若技術士補(右端)

7. まとめ

学生からの感想には「今まで将来のことをあまり考えてなかったけど技術士を目指し、広い視野で物事を見ていければと思いました」、「技術士を取ると良いことがたくさんあると先輩方から聞き、あまり興味がなかったがぜひ取っておきたいと思うようになった」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、45人中33人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、45人中35人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。

また、「都市環境学科で学んだことを将来どのように活かせるのか、どのような仕事に就けるのか詳しく分かることが出来た」、「自分も将来仕事に本気になりたいと思わせる講演だった」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演のわかりやすさ「満足度」は5段階評価でいずれも平均で4.6、4.7と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。